

No. 3132

2025-2026年度

会長 木本 隆昭  
 幹事 児嶋 正人  
 クラブ 広報小委員長 福田 一由



島 海碩 書

第2640地区  
 毎週木曜日 12:30  
 紀州有田商工会議所6F  
 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020  
 創立 昭和34年6月15日  
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
 e-mail [office@aridarc.jp](mailto:office@aridarc.jp)

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



よいことの  
ために  
手を取りあおう

本日のプログラム

令和7年11月13日 第3133回

- 会員卓話：中元 耕一郎 君  
(地区財団補助金小委員長)
- ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第3132回例会）

開催日 令和7年10月30日(木)

点鐘 [木本会長]

ゲストの紹介 [酒井親睦活動小委員長]

ゲスト：妻木 良三 様(画家)

ニコニコ箱の報告 [川口SAA]

木本君：妻木良三様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。成川パストガバナー生誕84年を寿ぐ益々のご健勝とご活躍を祈念しています。

菅原君：妻木良三様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話楽しみにしています。宜しくお願ひ致します。

成川(守)君：ロータリーに入会して、本当に良かった。多くの素晴らしい友人に出会いました。今日、10月30日、私は、満年齢84歳になりました。

生きているということは 誰かに借りをつくること  
生きているということは その借りを返してゆくということ  
誰かに借りたら 誰かに返そう

誰かにそうしてもらったように 誰かにそうしてあげよう  
永 六輔 様の詩です。

皆様は、これまで周りの人のお蔭で 生きてこられたと思います。これからも、周りの人のお蔭で 生きていかれることと思います。

人はひとりでは 歩いてゆけない

誰も 1人では 生きてゆけない

生きて行くとゆうことは 誰かと 手をつなぐこと

つないだ手のぬくもりを 忘れないでいること

めぐりあい 愛しあい やがて別れの日

そのときに悔やまないように 今日を あしたを 生きよう

2025-2026年度クラブ方針

「例会に出席しよう  
みんなに会おう」



次回のお知らせ

令和7年11月20日 第3134回

- 外部卓話：北口 雄一 氏  
(Kishu Social Club)
- ソング：「四つのテスト」

石垣君：妻木良三氏、卓話楽しみです。

岩橋君：妻木良三氏、卓話楽しみです。

宮井君：妻木良三様、ようこそおいで下さいました。本日卓話楽しみです。

松村君：妻木良三様、お話楽しみにしています。よろしくお願ひします。

上野山(栄)君：久々の例会です。皆様、私を忘れないで下さい。妻木様、本日よろしくお願ひします。

橋爪(誠)君：妻木良三様、ようこそ有田RCへ。お話楽しみにしておりました。卓話よろしくお願ひいたします。

井上君：妻木良三様、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

嶋田君：妻木良三様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話楽しみにしています。

手島君：妻木様、本日は卓話宜しくお願ひいたします。拝聴させていただきます。

福田君：妻木良三様、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

酒井君：妻木さん、本日卓話よろしくお願ひ致します。

川口君：妻木良三様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。学ばせて頂きます。

出席報告

[クラブ管理運営委員会 橋爪(誠)委員長]  
本日の出席者16名／24名  
(うち出席規定免除者5名／7名)

会長の時間 [木本会長]

成川パストガバナーは、本日84歳の誕生日を迎えられました。謹んでお祝いを申し上げます。そして、ロータリー財団からお祝いのメッセージが届いていますので、代読させていただきます。



お誕生日おめでとうございます。Narukawa 様  
ロータリー財団より、お誕生日のお祝いを申し上げます。

ロータリーでみんなが力をあわせ、前向きな変化をもたらし続けていくためのご尽力に心から感謝いたします。

あなたからのご支援のおかげで、私たちは「よいことのために手をとりあい」、世界をより良い場所とするために行動することができます。

これから1年が、あなたにとって実り多いものとなることを心からお祈りしております。心をこめて

フランチエスコ・アレツォ ホルガー・クナーク

2025-26年度国際ロータリー会長

2025-26年度ロータリー財団委員長

代読 有田ロータリクラブ会長 木本隆昭

成川パストガバナーは、1978年4月に入会され、現在47年目です。1997-98年度に有田RCの会長に就任され、1999-2000年度にはRI第2640地区ガバナーに就任、そして同年度有田2000RCを設立、2017-18年度に2回目の有田RC会長に就任されました。また、同年にはロータリー財団よりアーチ・クランプ・ソサエティ認証を受けています。

成川パストガバナーは現在まで36人の新会員を推薦してきました。まさに現在の有田RCにとってお父さんのような存在だと思います。2回目の会長をされた年度に、私木本、丸山さん、きのくに信金の田端さん、菅原さん、児嶋さんの5名が入会しました。丸山さんが退会したので、私、菅原さん、児嶋さん、福原(田端さんの後継者)さんの4人が会長を終えるまでは、最低でも見守ってほしいと願っています。そして、3年後の在籍50年の年度は有田RC70周年もあります。同期の石垣洋介さんとともに時の会長が盛大に祝ってくれる事を期待しています。

### 幹事報告

〔菅原直前幹事〕

1.2640地区

・新「学習トピック」のご案内 & クラブ細

則等ご共有のお願い

・財団室NEWS 2025年11月号

2.例会変更 後方掲示



### 委員会報告

※指名委員会〔直前会長 中村吉伸君〕

11月13日（木）例会終了後、第1回指名委員会を開催致します。歴代会長の皆様、御出席よろしくお願ひ致します。

※クラブ管理運営委員会〔松村副委員長〕

11月の担当割について

### 卓話



画家  
妻木 良三 氏

### 「鉛筆で描く襞（ひだ）」

鉛筆で描くようになったきっかけは、学生の頃それまで使っていた油絵具という素材の扱い辛さに気づき、心地よい素材は何なのか、初めて自分の感覚とじつと向き合い考えたことです。蓄積した情報や真似事を消去していく、残ったのが紙に鉛筆で襞を描く、ということでした。ある方から頂いた「イメージと方法が緊密に結びついている」という言葉は、今でも大切なものになっています。

その鉛筆ですが、濃さの種類や削り方や研ぎ方持ち方で、また、ガーゼ等で筆致を撫でることで、様々な質感、動きが画面に現れます。

描く前、まず白い布で風景を形作ります。窓際の床に瓶や人形を配置し、布を被せます。自然光の下に山脈のような形が現れ、その風景を写生するような作業です。

描くことで、世界のありように気づくこともあります。観者の、山や雲海のよう、体内のよう、との感想は興味深いことです。内と外の逆転。人々、宇宙は巨大な生物の体内なのでは？また、体に棲む微生物にとって、体内は宇宙なのでは？と思うからです。

作品タイトルにも入れてある「境」について。ふたつの世界が交わる「境」に襞が生成されること。海と陸の境に現れる海岸という襞。時代と時代の境に起こる混沌という襞。京都五山の送り火は、この世とあの世の境である山という襞に焚かれること、等。

子供の頃、電車で初島に絵を習いに通っていました。そこで見た画材や先生の収集物に、大きな影響を受けました。

現在、本堂で子供たちに絵を教えています。子供たちをとりまく環境はなんとなく窮屈になっているように感じます。自分が絵を描いていくこと、僕がそうであったように、これからもお寺での時間が、子供たちの中に何か残るような時間になればと思っています。

### 閉会・点鐘

〔木本会長〕





